

# 『どうなるの』今後の見通し…

地域の皆さんとの建設的な意見交換をつうじ、地域の声を町政、地域づくりに反映させることを趣旨として12月4日から9日にかけて町内10会場（90人の参集）で地域懇話会が開催されました。

懇話会では、町長から、この1年の行政報告があり、続いて皆さんからの質問、要望など意見交換を行いました。

各地域での意見交換を、担当課別に分類し、今後の対応を含めて主な内容を集約しましたので紹介します。

※《 》は持ち帰り後の検討結果を記載しました。

## 【開発振興室】

Q 地上デジタル放送について、滝上はどのようになっているのか？

A 2009年にNHKと民放も対応する計画になっている。



Q 去年の7月に総務省が次世代ブロードバンド放送2010を発表し、全ての家庭でブロードバンドが使えるように国、地方公共団体、事業者が提携して整備を推進するよう求めたと言いますが滝上町ではどうなのか？

A 総務省から文書は来ている。国は普及しようとしているが、地域全体をブロードバンド化すると地元負担が莫大に掛かることから、今のところ計画はしていない。

Q 合併新法が出て、そのペナルティはないか？

A ないと思う。

Q 町の財政状況について説明願いたい。夕張市のようにならないか心配だ。

A 平成15年に合併論議があり行財政改革実施計画書を作成し皆様に説明してきた。

これはH15年からH32年まで滝上町が財政的にやっていけるかどうか、努力をしながらやった姿を示している。当時、基金は20億円余りあり、現在19億3千万円とやや減っている。その時の状況として、地方公共団体の大きな財源である地方交付税がどの様に推移していくか見通しが全然立たない状況だった。しかし、計画のなかでは少なくとも交付税の3割は削減されると予測した。約10億円の削減である。我々が予測した削減期間より早く削減された事により、これからが大変になる。しかし、H17年、18年と交付税の減らし方が少なくとも今年は予測より

1億円多くもらえるようになった。この計画から3年経って基金も何とか取り崩さずやってきた。これから国が余程のことをしない限り、今の姿で行けばやっていける。ただ国のさじ加減でどうなるか分からないが、それは他の自治体も同じだ。計画書で示しているように、色々なことをしている。補助金の削減、職員の給与削減、施設等の使用料もいただくという提案もして実施してきた。その意味では、苦勞しながらも計画通り、今のところ行っている。滝上は町の規模から言うところ債という借金が多い。66億円の起債の他、国営土地改良事業で金融機関から25億円借りて一括償還している。このことにより財政面での実質公債比率が上がった。この借金は15年償還で5年経過したが財政面でもほぼ計画どおり進んでいる。

また、借金のピークはH21年ぐらいで、下水道処理場に投資しているためで、その償還時期にあたる。これを過ぎると国営事業の償還がH28に終わり、だんだん楽になってくる。今も借金をしない方法でやってきている。

Q 町は借金をどのくらいで抑えて行く考えか？

A 大きな事業は下水道事業があり来年度で終わる。事業費が年間2億円から2億5千万円掛かっていた。公営住宅の建て替えを毎年行っているのも大きい。また、今年も特別に火葬場も行った。こういう物は何年かに1回しか出来ない。借金をしないようにしている。これからの見通しとしては、下水道事業が終われば少し余裕が出るが、楽になるわけではない。しかし、1億から2億円の借金は、うちの規模から言うときほどではない。年間7億から8億円返済していることから借金がこの金額以内であれば確実に借金は減っていくことになり、国とは違う。

Q 行政の財政が厳しく国の締め付けも厳しい中で、これからどの様にして財政を良くしていくのか？少子高齢化により人口もだんだん減っていくなかで生産性の向上も無くなっていく。箱物施設は色々あるが町民のためになっっているのか？また採算が取れているのか？

A 箱物については、ほとんど全てが赤字である。病院についても赤字だが滝上町の病院経営は非常に良い方に入っている。北海道の病院のなかでは現在トップクラスであり、少額の赤字で済んでいる。ホテルについては、年間2千万円前後で押さえたいと思っているが、それを上回る状況で推移している。交流プラザも赤字のため一般会計で補填しているが、ホテルのように赤字でも町にとって必要なものはやらなければならない。風呂については、これから改革をして行かなければならないが、今後の状態にもよるが、赤字が続けば交流プラザの風呂はやめなければならないかもしれない。

Q 町長の行政報告で何故レジメを付けないのか。質問するにも資料がないと質問も出来ない。せっかく地域懇話会を行うのだから、色々な観点から話が出るように話題を作っていた方がいい。

A 制度的な改正等があるときには、説明資料を付けていたがそれ以外には付けていない。懇話会については、町長が1年を通してやってきた事を皆さんに報告したという事と、これからの予定を含めて町長の言葉で報告している。今後どうするか検討させて欲しい。

Q 長く話されても、書いた物がなければ我々は覚えられない。地域懇話会をやりましたと言うだけで、親切でないし、やる気が伝わってこない。

A 地域懇話会をこの時期に行うのは、新年度の予算編成が1月末に始まるため地域の意見を予算に反映させたいとの意図もあり、懇話会で町長がやってきたことを挨拶の中で報告する形を取っている。今話されたことは、別の観点からの事なので検討させて欲しい。

Q 今後将来的に明るい見通しでないと言っていたが、役場の組織改革が必要でないか。小さな組織の中で隣の課のことが分らない。横のつながりをもっとあっても良いのではないかと思う。窓口に行くとき、ここではない向こうだと言われ、そこからへ行く係がないので分らないと言われる。住宅でも公営住宅、職員住宅、教員住宅、高校住宅などあるが管理している所が違うため空き家でも入れない。公共施設でも同じ事が言える。町の施設と言ったことであるんな使い方が出来る形にならないのか。風呂にしても、プラザの湯とホテルの風呂の料金が違うが、共通券があれば入りやすい。使い勝手の良いようにならないのか。そう言う縦割り行政で良いのか疑問だ。

Q 地域懇話会を行った内容が広報誌に掲載されているが、何処の地区からの発言なのか分らない。地域名を出すことにより、それぞれの地域の問題が分り、お互い同じ問題を抱えている等、地域の盛り上がりにもなるのではないか。

A 地域名を入れない方が良い場面もあると判断している。



Q 地域懇話会を行った内容が広報誌に掲載されているが、何処の地区からの発言なのか分らない。地域名を出すことにより、それぞれの地域の問題が分り、お互い同じ問題を抱えている等、地域の盛り上がりにもなるのではないか。